

ヨーロッパの統合(EU)

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 **ヨーロッパ州** アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

ヨーロッパの国々は、なぜ統合を進め、どんな課題をかかえているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 EUの成り立ち

統合の歩み

EU

ヨーロッパ連合。ヨーロッパの国々が経済や政治で協力する組織。

2度の世界大戦で戦場となったヨーロッパでは、戦後、国どうしの争いをなくし、アメリカなどの大国に負けない経済力をもつために、協力が進められた。1967年に**EC**(ヨーロッパ共同体)が生まれ、1993年に**EU(ヨーロッパ連合)**へと発展した。本部はベルギーの**ブリュッセル**に置かれている。

ユーロ

EUの多くの加盟国で使われている共通通貨。

加盟国の間では、輸入品にかかる**関税**がなくなり、パスポートなしで国境をこえられる国が多い。多くの加盟国では共通通貨の**ユーロ**が使われ、両替をしなくても買い物ができる。そのため、人やもの、お金の行き来が活発になった。

2 EUの課題

格差と課題

けいざいかくさ 経済格差

国や地域の間、豊かさのちがいがい。

2000年代には、東ヨーロッパの国々が多く加盟し、2020年からは27か国になった。工業が発達した西ヨーロッパと東ヨーロッパの間には**経済格差**があり、賃金の安い東ヨーロッパへ工場が移ったり、仕事を求めて西ヨーロッパへ移り住む人が増えたりしている。

なんみん 難民

戦争や迫害をのがれて、ほかの国へ逃げてきた人々。

また、アフリカや西アジアから来る**移民**や**難民**の受け入れをめぐる、国によって考えが分かれている。こうした中、**イギリス**は国民投票の結果をうけて、2020年にEUを**離脱**した。



EUの本部と、西と東のヨーロッパ

2000年代に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパに比べて賃金が安い。

問いへの答え

ヨーロッパの国々は、争いをなくし、大国に負けない経済力をもつためにEUをつくった。加盟国の間では関税がなくなり、共通通貨のユーロも使われて、人やもの、お金の行き来が活発になった。一方で、西と東の経済格差や、移民・難民の受け入れなどの課題をかかえ、イギリスは2020年に離脱した。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

